

令和3年度 文教委員会資料②

【所管事務の調査（報告）】

東京 2020 オリンピック聖火リレー及びパラリンピック聖火フェスティバルについて

資料1 東京 2020 オリンピック聖火リレーについて

資料2 東京 2020 パラリンピック聖火フェスティバルについて

市 民 文 化 局

(令和3年5月26日)

東京2020オリンピック聖火リレーについて

1 目的・概要等

【目的】

- ・ギリシャ・オリンピアの太陽光で採火された炎を、ギリシャ国内と開催国内でリレーによって開会式までつなげるもの
- ・オリンピックのシンボルである聖火を掲げることにより、平和・団結・友愛といったオリンピックの理想を体現し、開催国全体にオリンピックを広め、きたるオリンピックへの関心と期待を呼び起こす役割

【聖火リレー イメージ】

- 日本全国を盛り上げる
- 誰もが参加できるリレー
- 地域の特色を活かしたリレー
- 持続可能/安全・確実なリレー

【聖火リレー 3つの視点】

- 被災から立ち上がる「復興・不屈の精神」
- 様々な「違いを認めあう包容力」
- 地域の「祝祭による一体感」

【オリンピック聖火リレー コンセプト】

Hope Lights Our Way

希望の道を、つなごう。

2 本市におけるオリンピック聖火リレー

- ・主催
 - 公益財団法人東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会
 - 東京2020オリンピック聖火リレー神奈川県実行委員会
- ・日時
 - 令和3年6月30日（水）
 - 10:10～11:00ごろ（県3日目）
- ・ルート
 - 等々力陸上競技場～武蔵中原駅手前（約3.2km）
- ・県実行委員会選出の聖火ランナー（敬称略）
 - 佐々木 彩夏、玉井 詩織、高城 れに（ももいろクローバーZ）
 - アレックス ラミス（前横浜DeNAベイスターズ監督）
 - 五島 シズ（川崎市市民）
- ・サポートランナー
 - 聖火リレーを地域で盛り上げていくため、第1走者の聖火ランナーのすぐ後ろを市内の小学校・特別支援学校の児童20名が走行



3 オリンピック聖火リレーに関する本市の取組

(1) 出発式

- ・日時：令和3年6月30日（水）9:30～10:45
- ・会場：等々力陸上競技場
- ・観覧者
 - 対象者：県内在住・在勤・在学の方
 - 申込方法：5/17から5/31までWebまたは郵便で申込み
 - 応募者多数の場合は抽選
 - 観覧者数：最大で約13,000名（収容人員の半数）
- ・内容（タイムテーブル）



正面から見たオリンピック聖火トーチ

時間	内容	担当
9:30	オープニング	市
9:35	市消防音楽隊・カラーガード隊による演奏	市
9:40	事前プログラム(King of Swagと市内高校生によるダンス)	市
10:00	出発式 ①聖火入場 ②聖火ランナー入場 ③主催者等挨拶 ④聖火点火 ⑤フォトセッション	県
10:10	競技場内聖火ランナー走行	県
10:30	事後プログラム(ブレیکنとダブルダッチのショーケース)	市
10:45	閉式	市

※11:00から各種スポーツ等の体験会を実施（事前申込制）

(2) 沿道盛り上げ

ルート沿道において、聖火ランナー応援のための演出を実施(実施個所は地図参照)

- A) チアリーダー
- B) チアリーダー
- C) 大西学園中高等部吹奏学部

4 その他

(1) 交通規制

当日9:00～11:30ごろにかけて、リレールート周辺で段階的に交通規制が実施。聖火ランナー通過中は道路の横断が制限

(2) 感染症対策

東京2020大会組織委員会が示している「東京2020オリンピック聖火リレーにおける新型コロナウイルス感染症対策に関するガイドライン」に基づき対策

- ・ガイドラインにおける基本的な対策(3密回避、飛沫感染・接触感染防止、消毒の徹底等)
- ・沿道における対策(ライブストリーミングで視聴可能なことの事前周知の徹底やスタッフによる声掛け、密集が予想される沿道における通行路の確保等)
- ・セレモニーにおける対策(その時点における政府の「催物の開催制限等」を踏まえて実施するほか入場ゲートにおける検温、手指消毒の案内等)

1 目的・概要等

【目的】

- オリンピックの熱気をパラリンピックへとつなぐ機運醸成の役割を果たすものであるとともに、共生社会の実現に向けて、人と人、人と社会との新しいパートナーシップを考えるきっかけとなることを目指すもの。

【パラリンピック聖火リレーコンセプト】

Share Your Light

あなたは、きっと、誰かの光だ。

【聖火リレー概要】

- パラリンピックの聖火は、イギリスのストーク・マンデビル（パラリンピック発祥の地）で採火された火と、日本各地で採火された火を集火して開催都市聖火リレーが行われ、パラリンピックの聖火となる。
- 聖火リレーは、競技が開催される都県（東京、千葉、埼玉、静岡）でのみ行われ、その他の道府県では聖火フェスティバルを実施。

聖火フェスティバル（43道府県）

採火式、聖火ビジット、出立式

ストーク・マンデビル

パラリンピック発祥の地で採火された火を集火

日本全国で採火された火を集火

競技会場都県聖火リレー（東京、千葉、埼玉、静岡）

採火式、聖火ビジット、聖火リレー、出立式

開催都市聖火リレー（東京）

パラリンピック開会式

【聖火フェスティバル概要】

種類	内容
採火(式)	各都道府県で、それぞれの共生社会への思いが込められた火を独自の手法で採火する ＜採火方法の例＞ お祭りの火、灯籠流しの送り火、大文字焼き、工場の火花
聖火ビジット	採火した火をランタンなどに入れ地域名所などを訪問する ＜訪問先の例＞ 名所・旧跡、公共施設、学校、病院、・障害者施設など
出立(式)	採火した火を各都道府県の思いが込められた火として、開催都市の東京へと送り出す

2 神奈川県における聖火フェスティバル

パラリンピックの関心を高め、機運醸成を図り「ともに生きる社会かながわ」の実現を目的とし、聖火フェスティバルを実施し、県下の市町村すべてで採火を行う。

採火(式)
(令和3年8月13日～15日)

集火・出立式
(令和3年8月15日 18:00)

県内全市町村

- 地域の特色を生かしながら共生社会への思いを込めた火を各市町村で採火
- 採火後、ランタンに火を移し、その後「〇〇市の火」として県に送り出す。

県

- 全市町村で採火された火を、1カ所で集める集火を実施した後に、「ともに生きる社会かながわの火」として開催都市東京へと出立させる出立式を赤レンガ倉庫で実施。

3 本市における聖火フェスティバル

【概要】

- 7区でそれぞれ地域性を活かした「種火の採火」を実施。(実施時期：8月上旬～中旬)
- 7区の種火を等々力緑地の採火式で集火し、「かわさきの火」とする。
- 「かわさきの火」を神奈川県集火・出立式に持参。

【各区で「種火の採火」を実施することについての考え方】

- 聖火フェスティバルの実施を契機に各区で「種火の採火」を実施することで、パラリンピックへ意識を向けようとするともに県の理念とも通じるかわさきパラムーブメントの機運醸成につなげる。

【本市の採火式】

- 日時：令和3年8月14日(土) 18:00～19:00
- 会場：等々力緑地(等々力陸上競技場脇のスペース)
- 観覧者：自由観覧(今後の新型コロナウイルス感染症の影響により変更の可能性)
- 内容

時間	内容
18:00	開式/オープニング
18:05	主催者挨拶
18:10	採火式(市内7区からの集火)
18:50	フォトセッション
18:55	出立セレモニー
19:00	閉式



上から見たパラリンピック聖火トーチ

【感染症対策】

- 東京2020大会組織委員会が示している「東京2020 パラリンピック聖火リレーにおける新型コロナウイルス感染症対策に関するガイドライン」に基づき対策。